

## 第 64 次教育研究愛知県集会

10 月 18 日(土) ウィンク愛知

全大会：委員長、来賓あいさつ。基調報告

特別集会：記念講演

「子どもたちの健やかな成長をめざして」  
大切な存在であることを伝えよう  
～子どもたちの「自尊感情」を高めるために～

講師：園田雅春（大阪成膜大学 教育学部 教授）

子どもの心の叫びとして、不登校の問題があります。全国的に多くの子どもが、学校へ行けない、保健室登校、親として、とても心が痛みます。理由は、人間関係だけでなく、倦怠感、脱力感、びっくりするような理由もあります。

子どもだけでなく、大人もみんな忙しく、親もゆっくり子どもの話を聞いていないのではないのでしょうか。たとえとして園田教授が、事例を話してくださいました。

・5歳の男の子が、お風呂上がりアイスを食べた後「俺の一日は、これで終わった。」

・4歳の娘の誕生日、お母さんが「大きくなったね、でもすぐに、お嫁さんだね。」

娘「だいじょうぶ、すぐに、かえってくるから」

子どもは「こころの居場所」自分を認めてくれる人（ほめるだけでなく、共感してくれる人）を求めている、自分が周りの人に「大事にされている」「必要とされている」その実感が、自尊心を持つことにつながり、夢や希望を持てる子どもが育つのだと思います。

今は、内弁慶でなく、外弁慶になる子どもが多いそうです。親の前では良い子、外では・・・

私たち親は、子どもの成長を感じられる大人のアンテナを立てることが大切です。良いことは良い、間違っていることは諭す。「あなたが大好き」の一言をそえて。

自分を大切にできる人は、他も大切にできる。他を認めることで自分を認めることができる。そんな親の心のゆとりが、子どもの生活面だけでなく、自尊心を持つことができ、学習面でも影響がでるそうです。

子どもの持つ夢を、それが大きくても、小さくても、応援して行きたいですね。

報告

古瀧みさ子